

祈りの輪のロザリオ（４）

2020年5月8日（金）

【導入】（古屋敷シスター）

皆さん、新型コロナウイルス感染終息のために続けられているロザリオの祈りの輪に、今日も連なったださり、心から感謝申し上げます。引き続き、種々の困難に直面して苦しむ世界の人々の為、聖母マリアの取り次ぎを願って祈りたいと思います。今日は「光の神秘」を用います。聖母マリアの心でイエスの生涯を黙想して参りましょう。初めに、福音朗読を聞きましょう。

【福音朗読とメッセージ】（白浜）

【マルコ章 1・7～11】

〔洗礼者ヨハネ〕はこう宣べ伝えた。「わたしよりも優れた方が、後から来られる。わたしは、かがんでその方の履物のひもを解く値打ちもない。わたしは水であなたたちに洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお授けになる。」

そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨルダン川でヨハネから洗礼を受けられた。水の中から上がるとすぐ、天が裂けて、「霊」が鳩のように御自分の上に降ってくるのを、ご覧になった。すると、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた。

（メッセージ）

皆さん、この五月にわたしたちは、ロザリオの四つの神秘を順番に用いて、マリアの心をもって、イエスの生涯を黙想しながら、イエスの後に従って生きる決意を新たにしたいと願っています。

今日は、イエスがヨルダン川でヨハネから洗礼を受けたことから始まり、最後の晩さんにおいて聖体の秘跡を制定された出来事を思い起こす「光の神秘」を黙想します。

世界中の人々が新型コロナウイルスの感染に苦しむ中で、わたしたちはその感染を防止する衛生的な観点からだけでなく、霊的な観点からも、今までの自分の心の状態を振り返って、「新しい生活様式」を模索する機会が与えられています。教皇フランシスコは、「新型コロナウイルスのパンデミックは、人類に対する神の裁きではなく、何が一番大切かを見極め、今この時から行動に移していくように、との神の呼びかけである」（3月27日）と教えています。

イエスは、新しい生活様式へと人類を招く第一歩として、ヨルダン川で洗礼を授けていたヨハネのもとに行き、自ら洗礼をお受けになりました。そのとき、イエスの上に聖霊が降り、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が聞こえてきました。こうして、イエスは、人類のために「聖霊による洗礼」を準備するための歩みを開始されました。

洗礼の恵みを受けているわたしたちにも、同じ聖霊が与えられて、「聖霊による洗礼」、つまり、聖霊の働きによって、イエスのように神とともに生き、人々の救いのために新しい生活へと導かれていく恵みが与えられています。わたしたちは、その洗礼の道が聖霊の働きによって、毎日続けられている歩みであることを黙想しながら、周りで苦しむ人々のために、自分に今できることを始めることができるよう、聖母マリアの取り次ぎを願いましょう。

【先唱】（古屋敷シスター）

神のことばに応えて、典礼聖歌 96 番の 1 番と 2 番を歌いましょう。

答唱 この水を受けたすべての人は 救いの喜びに 声あげて歌う アレルヤ、アレルヤ

詩編 ① 谷川の水を求めて あえぎさまよう鹿のように 神よ わたしはあなたを慕う

② わたしの心はあなたを求め 神のいのちをあこがれる 喜び祝う人々とともに
わたしはみ前に進み出た

【先唱】（古屋敷シスター）

それでは、まず「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」をささげ、その後、イエスの光の神秘を黙想しながら、ロザリオの祈りを始めましょう。

いつくしみ深い神よ、
新型コロナウイルスの感染拡大によって、
今、大きな困難の中にある世界を 顧みてください。
病に苦しむ人に 必要な医療が施され、
感染の終息に向けて 取り組む すべての人、
医療従事者、病者に寄り添う人の健康が 守られますように。
亡くなった人が 永遠の みに国に迎え入れられ、
尽きることのない 安らぎに 満たされますように。
不安と混乱に直面している すべての人に、
支援の手が 差し伸べられますように。
希望の源である神よ、
わたしたちが 感染拡大を 防ぐための 犠牲を惜しまず、
世界の すべての人と 助け合って、
この危機を 乗り越えることが できるよう お導きください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

希望と慰めの よりどころである 聖マリア、
苦難のうちにある わたしたちのために お祈りください。

(2020 年 4 月 3 日 日本カトリック司教協議会認可)

【ロザリオの祈り】 — 「光の神秘」 — (白浜)

【使徒信条】

天地の創造主、全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。
主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみ受け、
十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、
三日目に死者のうちから復活し、天に昇って
全能の父である神の右の座に着き、
生者（せいしゃ）と死者を裁くために来られます。
聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、
罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。
アーメン。

【主の祈り】 (1 回)

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。アーメン。

【アヴェ・マリアの祈り】 (3 回)

アヴェ、マリア、恵みに満ちた方、
主はあなたとともにおられます。
あなたは女のうちに祝福され、ご胎内の御子イエスも祝福されています。
神の母聖マリア、わたしたち罪びとのために、
今も、死を迎える時も、お祈りください。アーメン。

【栄唱】

栄光は父と子と聖霊に。
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

第1の黙想 イエス、ヨルダン川で洗礼を受けられる(日本語：荻神父)

イエスがヨルダン川で洗礼を受けられると、聖霊がくだり、「あなたはわたしの愛する子」という御父の声が聞こえました。

この一連をささげて、洗礼の恵みを神に感謝し、聖霊に導かれて、神の子として生きることができるよう聖母の取り次ぎによって願いましょう。

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

第2の黙想 イエス、カナの婚礼で最初のしるしを行う(英語：久保神父)

イエスは、母マリアのとりなしに応え、カナの婚礼で水をぶどう酒に変えて、弟子たちの信じる心を開いてくださいました。

この一連をささげて、イエスへの信仰を深めることができるよう聖母の取り次ぎによって願いましょう。

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

第3の黙想 イエス、神の国の到来を告げ、人々を回心に招く(韓国語：古屋敷シスター)

イエスは、神の国の到来を告げ、人々を回心に招き、神のいつくしみを現してくださいました。

この一連をささげて、イエスの招きに応え、心から悔い改めて、福音を信じることができるよう聖母の取り次ぎによって願いましょう。

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

第4の黙想 イエス、タボル山で栄光の姿を現す(ポルトガル語：野中神父)

イエスは、タボル山で三人の弟子たちに栄光の姿を現し、困難を乗り越える希望の光を示してくださいました。

この一連をささげて、主の変容を心に刻み、イエスに聞き従うことができるよう聖母の取り次ぎによって願いましょう。

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

第5の黙想 イエス、最後の晩さんで聖体の秘跡を制定する(フランス語：シルベスター助祭)

イエスは、最後の晩さんで、救いのいけにえ、永遠のいのちの糧として、パンとぶどう酒を用いて聖体の秘跡を定め、人類に対する愛の記念を残してくださいました。

この一連をささげて、すべてを与え尽くされたイエスの愛に日々ならうことができるよう
聖母の取り次ぎによって願ひましょう。

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

【結びに】(古屋敷シスター)

皆さん、御子イエスの後に従って生きることができるよう、派遣の祝福をいただきましょう。

【祝福】(白浜)

司 主は皆さんとともに。

一同 また司祭とともに。

司 全能の神、父と子と聖霊の祝福が + 皆さんの上にありますように。

一同 アーメン。

司 ロザリオの祈りを終わります。行きましょう、主の平和のうちに。

一同 神に感謝。

【カトリック聖歌集】374番「野ばらのにおう」1番・2番・3番 (荻神父)

- 1 野ばらの匂う ルルドの岩屋 ファティマの丘の 楡のはやしに
現われましし み母のみ手に 揺ぎかかれる ロザリオの珠
- 2 いばらの山路 なみだの谷に 歩みもまどう 世のもの人に
さしのべ給う 救いのみ手に 清くかがやく ロザリオの珠
- 3 お告げの恵み しもとの責苦 甦がえります 主のみ栄えを
こころの内に 繰り返しつつ 手にぞま探る ロザリオの珠

【聖歌の後】(古屋敷シスター)

皆さん、今週も、ロザリオの祈りの輪に加わっていただき、どうも有難うございました。
この祈りのテキストは、毎週、木曜日までに広島教区のホームページに掲載されます。
もしよろしければ、テキストをご覧になって、一緒にお祈りください。

それでは、皆さん、お体にはくれぐれも、気をつけて お過ごしください。
また、来週、よろしくお祈いします。さようなら。